

第 233 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2023 年 3 月 17 日（金）午前 10 時 00 分～12 時 02 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、久後翔太郎、小路直彦、小浪尊宏、野口貴文（委員長）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」4 月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事概要案が承認された。 ・ 審査対象資材のうち、4 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;"><品目></th> <th style="text-align: center; width: 20%;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 50%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="padding-top: 10px;">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 5px;">異形棒鋼</td> <td style="padding-top: 5px;">東北、関東、新潟、福井、中部、近畿、中国、四国、九州</td> <td style="padding-top: 5px;">鉄スクラップ価格続伸で需要者に材料手配の動きが広がる中、電力料金や原材料費等の製造コスト増加からメーカーは値上げ交渉を継続。需要者は値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 5px;">鉄スクラップ</td> <td style="padding-top: 5px;">全国</td> <td style="padding-top: 5px;">市中発生量が依然低調な中、トルコ大地震の復興需要等による需要拡大で輸出向け価格は上昇し、国内電炉メーカーは炉前購入価格を引き上げた。問屋筋も概ね追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 5px;">セメント</td> <td style="padding-top: 5px;">那覇</td> <td style="padding-top: 5px;">メーカーは、製造コスト増加を理由に昨年 2 回にわたり打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強めている。那覇は、昨年 10 月の追加値上げが満額浸透し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 5px;">生コンクリート</td> <td style="padding-top: 5px;">金沢</td> <td style="padding-top: 5px;">原材料、輸送コスト増加等を理由に組合は昨年 8 月より値上げを打ち出す。さらなる原材料コスト増加から組合が売り腰を強める中、年明け以降、非組合員も値上げに追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 5px;">生コンクリート</td> <td style="padding-top: 5px;">静岡</td> <td style="padding-top: 5px;">原材料、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。需要堅調で今後も大型物件が控える中、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 5px;">生コンクリート</td> <td style="padding-top: 5px;">岡山</td> <td style="padding-top: 5px;">出荷量減少、原材料コスト増加を理由に組合は今年 1 月より値上げを打ち出す。製販の組合が足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した資材】			異形棒鋼	東北、関東、新潟、福井、中部、近畿、中国、四国、九州	鉄スクラップ価格続伸で需要者に材料手配の動きが広がる中、電力料金や原材料費等の製造コスト増加からメーカーは値上げ交渉を継続。需要者は値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	鉄スクラップ	全国	市中発生量が依然低調な中、トルコ大地震の復興需要等による需要拡大で輸出向け価格は上昇し、国内電炉メーカーは炉前購入価格を引き上げた。問屋筋も概ね追随し、市況上伸。	セメント	那覇	メーカーは、製造コスト増加を理由に昨年 2 回にわたり打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強めている。那覇は、昨年 10 月の追加値上げが満額浸透し、市況上伸。	生コンクリート	金沢	原材料、輸送コスト増加等を理由に組合は昨年 8 月より値上げを打ち出す。さらなる原材料コスト増加から組合が売り腰を強める中、年明け以降、非組合員も値上げに追随し、市況上伸。	生コンクリート	静岡	原材料、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。需要堅調で今後も大型物件が控える中、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	生コンクリート	岡山	出荷量減少、原材料コスト増加を理由に組合は今年 1 月より値上げを打ち出す。製販の組合が足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																							
【上伸した資材】																									
異形棒鋼	東北、関東、新潟、福井、中部、近畿、中国、四国、九州	鉄スクラップ価格続伸で需要者に材料手配の動きが広がる中、電力料金や原材料費等の製造コスト増加からメーカーは値上げ交渉を継続。需要者は値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																							
鉄スクラップ	全国	市中発生量が依然低調な中、トルコ大地震の復興需要等による需要拡大で輸出向け価格は上昇し、国内電炉メーカーは炉前購入価格を引き上げた。問屋筋も概ね追随し、市況上伸。																							
セメント	那覇	メーカーは、製造コスト増加を理由に昨年 2 回にわたり打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強めている。那覇は、昨年 10 月の追加値上げが満額浸透し、市況上伸。																							
生コンクリート	金沢	原材料、輸送コスト増加等を理由に組合は昨年 8 月より値上げを打ち出す。さらなる原材料コスト増加から組合が売り腰を強める中、年明け以降、非組合員も値上げに追随し、市況上伸。																							
生コンクリート	静岡	原材料、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。需要堅調で今後も大型物件が控える中、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																							
生コンクリート	岡山	出荷量減少、原材料コスト増加を理由に組合は今年 1 月より値上げを打ち出す。製販の組合が足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
	生コンクリート	宮崎	原材料、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 12 月より値上げを打ち出す。域内に有力な非組合員工場がなく、隣接地区からの流入もみられない中、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	生コンクリート	那覇	原材料、輸送コスト増加を理由に組合が昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、年明け以降、売り腰を強め、昨年 12 月に続き、市況上伸。
	コンクリート用砂 (荒目) (細目)	大津	製造コスト増加等を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、昨年 9 月に生コン市況が上伸した主需要者の生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン	東京、横浜	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 8 月より値上げを打ち出す。需要旺盛な中、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン	大津	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。需要堅調な中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン	松山	製造コスト増加を理由に最大シェアのメーカーは昨年 12 月より値上げを打ち出す。他社も値上げに追随し、足並みをそろえ売り腰を強めた結果、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン	大分	製造コスト、運搬コスト増加を理由に砕石協同組合は昨年 7 月より値上げを打ち出す。年明け以降、生コン市況の上伸と堅調な民間工事需要を背景に売り腰を強め、市況上伸。
	クラッシュラン	和歌山	製造コスト増加を理由にメーカーは昨年 9 月より値上げを打ち出す。年明け以降、河川工事向け等で需要が増加する中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	クラッシュラン	高知	製造コスト増加を理由に最大シェアメーカーは昨年 10 月より値上げを打ち出す。他社も値上げに追随し、安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	再生クラッシュラン 大分	運搬コスト増加を理由に中間処理業者、砕石業者は今年度入り後、値上げを打ち出す。年度末に向け、堅調な民間工事需要を背景に売り腰を強め、市況上伸。
	PHC パイル 那覇	需要減少、製造コスト増加を理由に協同組合は昨年 4 月より値上げを打ち出す。県外からの流入がほぼない中、採算重視の姿勢で売り腰を強め、市況上伸。
	軽油 全国	原油相場がじり高に転じたことに加え、為替の円安基調により、元売卸価格は上昇。流通業者は、仕入価格上昇分の価格転嫁を進め、市況上伸。
	ストレートアスファルト 全国（那覇除く）	ストアス価格算定期間内の元売原油調達価格は上昇し、元売会社は卸価格を引き上げた。ディーラーは道路舗装会社との価格改定交渉において卸価格の転嫁を進め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形 自由勾配側溝 岡山	原材料、運搬コスト増加を理由に県コンクリート製品協同組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随し、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形 自由勾配側溝 山口	原材料、運搬コスト増加を理由に県コンクリート製品協同組合は昨年 9 月より値上げを打ち出す。年明け以降、セメント再値上げの危機感から売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形 熊本	原材料コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。半導体工場新設に伴う周辺工事が必要が旺盛な中、原材料コストのさらなる増加を受けて売り腰を強め、市況上伸。
	自由勾配側溝 金沢	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 12 月より値上げを打ち出す。次年度に骨材の大幅値上げを控え、危機感を強めたメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
	自由勾配側溝 佐賀	原材料、人件費等のコスト増加を理由にメーカーは昨年 7 月より値上げを打ち出す。年度末に向け工事が増加したのを機に売り腰を強め、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
<p>○鉄スクラップについて、トルコの震災復興需要の他に、中国でも需要拡大が期待されるとのことだが、不動産不況下の中国でも需要が高まるのか。</p> <p>3.「積算資料」4月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p>	自由勾配側溝	大分	製造コスト増加を理由に県コンクリート製品協同組合は昨年12月より値上げを打ち出す。県外からの流入はなく、非組合員との競合もみられない中、新価格が浸透し、市況上伸。
	ベンチフリューム	岡山	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年10月より値上げを打ち出す。供給メーカーが限られる中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート積みブロック	岡山	原材料、運搬コスト増加を理由にコンクリート製品協同組合は昨年10月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随し、年明け以降、徐々に値上げが浸透して、市況上伸。
	【下落した資材】		
	生コンクリート	福井	北陸新幹線延伸工事が終息し需要が大幅に減少する中、組合と非組合員工場との競合が生じている。需要者の指値も強まり、市況下落。
	ストレートアスファルト	那覇	沖縄地区では、県内唯一の油槽所を有するメーカーが1月以降の原油調達コスト低下を反映して値下げを実施し、市況下落。
	<p>・中国は鉄スクラップの輸入を2018年に禁止し、2021年頃から再開したが、ゼロコロナ政策の影響もあって輸入量はあまり増加していなかった。中国国内の鉄鋼需要はやや不透明なところはあるが、鉄スクラップの輸入再開とゼロコロナ政策終了の影響から、今後、輸入量の増加が予想されている。</p> <p>・審査対象資材のうち、4月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>		
<品目> [地区] (理由)			
【上伸した資材】			
板ガラス	全国	材料費や燃料費、副資材価格の高騰に加え、為替コストの転嫁を理由にメーカーは昨年10月より値上げを実施。新価格が徐々に浸透して、市況上伸。	
電線・ケーブル	全国	3月初旬の国内電気銅建値はt当たり前月比4万円上昇。メーカーは銅価上昇に加え、電気料金の上昇など製造コスト増加分を転嫁すべく卸価格を引き上げた。流通筋も売り腰を強め、市況上伸。	

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
<p>○板ガラスの価格の上昇幅が大きいですが、過去にこれほどの値上がりがあった資材はあるか。</p> <p>4. 「土木施工単価」春号土木工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>【下落した資材】 型枠用合板</p>	<p>全国</p>	<p>型枠工事が閑散期に入り、荷動きは低調。今後、安値で手配した製品が入荷する流通業者は決算期に向け販売価格を下げて在庫を減らす動きを継続し、市況下落。</p>
	<p>正角材 杉 (KD)</p>	<p>全国</p>	<p>木造住宅の需要低迷から荷動きが引き続き低調な中、在庫豊富な輸入材が優先して使用され、国産材は在庫が増加。競合する輸入材の価格下落に合わせて、国産材も価格を引き下げ、市況下落。</p>
<p>5. 「建築施工単価」春号建築工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>平角材 米松 (KD)</p>	<p>全国</p>	<p>木造住宅の需要低迷から荷動きは引き続き低調。米国内の住宅需要減少で現地価格は下落している。世界的な需要減少から欧州材との競合も加わり、市況下落。</p>
	<p>・板ガラスに関しては、メーカーの値上げ打ち出し額としては過去にも同じような値上げ幅はあったが、メーカーの足並みがそろわず浸透しなかった。今回は、メーカーの足並みがそろい大幅な価格上昇となった。他の資材では、木材がウッドショックの際に1年弱で価格が約2倍になったが、単月で今回のような上昇幅はあまりみられない。</p>		
<p>4. 「土木施工単価」春号土木工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>・審査対象工種のうち、春号で掲載価格に変動が生じる土木工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>		
	<p style="text-align: center;"><品目> [地区] (理由)</p>		
<p>5. 「建築施工単価」春号建築工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>【上伸した工種】</p>		
	<p>鉄筋工</p>	<p>東京、福岡</p>	<p>需要は再開発工事を中心に堅調に推移。慢性的な職人不足の状況に改善の兆しがみられない中、労務の処遇改善を目指した値上げ交渉が進展し、市況上伸。</p>
<p>5. 「建築施工単価」春号建築工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>道路植栽工</p>	<p>全国</p>	<p>需要は新規の植栽工事は少なく、維持管理工事が中心。職人不足による労務コストの増加が著しく、専門工事業者の値上げが浸透して、市況上伸。</p>
	<p>・審査対象工種のうち、春号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>		
<p>5. 「建築施工単価」春号建築工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p style="text-align: center;"><品目> [地区] (理由)</p>		
	<p>【上伸した工種】</p>		
<p>5. 「建築施工単価」春号建築工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>鉄筋工事</p>	<p>福岡</p>	<p>再開発工事を中心に需要は好調。人件費上昇を理由とした専門工事業者の値上げ交渉が進展し、市況上伸。</p>

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
<p>○土木工事市場単価の説明で、職人不足に伴う労務コストの増加が価格上昇の要因との説明があり、建築工事市場単価ではあまりその説明がなかったが、実際はどうか。</p> <p>6. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>ガラス工事 全国</p> <p>・東京地区の鉄筋工事についてと思われるが、土木工事とは値上げの浸透時期がやや異なるものの、大体同じ状況である。建築の鉄筋工事の東京地区は、今回は横ばいだが、前号まで3季続けて上昇しており、先行きも強含みとみている。</p> <p>・2023年4月17日（月）10時～12時と決定。</p>	<p>再開発工事等の大型物件に加え中小物件の引き合いも増え、需要は堅調。専門工事業者はガラスメーカーが実施した材料費の値上げ分を工事価格に転嫁を進め、市況上伸。</p> <p>(以 上)</p>

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

- 第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。
- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
 - 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

- 第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。
- 2 委員長は、委員会を代表する。
 - 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。